

# 年 頭 所 感



北海道知事 高 橋 はるみ

新年明けましておめでとうございます。

北海道医師会の皆様には、平素から道政各般にわたり、深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝を申し上げますとともに、皆様とともに新しい年を迎えることができましたことを、心からお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、一昨年の記録的豪雨による被害から暮らしと経済を立て直すため、関係機関の皆様と総力を挙げて復旧・復興に取り組み、国道274号線の開通や被災した地域での豊穡の出来秋など、うれしい知らせがありました。また、人口減少・危機突破に向けて地域創生を推進する中、子育て支援の充実をはじめ、農林水産業の振興、移住定住の促進や働き方改革の推進など、誰もが安心して暮らせる、活力ある地域社会づくりを進めました。2月のアジア冬季競技大会では道産子選手が活躍し、江差沖では104年ぶりにニシンの群来が観測され、その江差町のニシン漁による繁栄、松前町と函館市の北前船交易の歴史が、道内で初めて日本遺産に認定されるなど、美しい自然や豊かな食はもとより、歴史や文化、スポーツなど幅広い分野で北海道の可能性を実感できた一年でありました。

そして、今年は、北海道命名150年という大きな節目の年です。先人から受け継いできた北海道価値と未来への展望を道民の皆様と共有しながら、次の世代を担う子どもたちに豊かな北海道を引き継いでいけるよう、各般の施策を展開してまいります。

地域医療の確保においては、昨年7月、皆様のご協力により、メディカルウイングが全国で初めて就航しました。また、北海道医師会や北海道病院協会、医育大学のご協力のもと、「緊急臨時的医師派遣事業」や医育大学の地域枠制度などを利用した医師の確保をはじめ、在宅医療の充実、健康寿命の延伸やがん患者への支援などに取り組んでいます。

地域枠制度により25名の医師が道内の公的医療機関等で勤務しています。今後とも、道民の皆様健康づくりと地域医療の確保・充実に努めてまいります。

医療や介護、生活支援などのサービスを切れ目なく提供する地域包括ケアシステムの構築については、市町村と連携して進めるとともに、介護人材の

安定的な確保に向け、離職した介護福祉士等の再就職支援、介護ロボットの導入促進、そして障がいのある方々の多様な就労の創出などの取組を進めます。

一昨年、北海道医師会の皆様のご協力により「北海道地域医療構想」を策定しましたが、現在、道の保健・医療・福祉施策の基本となる「北海道医療計画」の策定に向けて取り組んでおり、医療機関の機能分担と連携を図り、地域医療の体系化を推進し、良質で切れ目のない医療を効率的かつ継続的に提供する体制の整備に努めてまいります。

道といたしましては、こうした取組を通じて、地域医療の第一線でご活躍なさっている北海道医師会の皆様との連携をさらに深めながら、保健・医療・福祉の推進に努めてまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとりまして、希望にあふれる年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

